

学校・保護者・地域をつなぐ...

うてよびびけよ 鼓中通信

第1号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して
令和7年4月10日

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

まっさらな気持ちで令和7年度を始めましょう！！

この通信は3年目となりました。「うてよびびけよ～鼓ヶ浦～♪」は、本校の校歌のサビの部分です。生徒たちの持っている力強い生命力が波の打ち寄せる勢いのように、活気と笑顔であふれる学校となりますようにという願いを込めています。

今年度も本校職員と生徒で力を合わせて、「来てよかった、明日も来たい」学校を目指していきたいと思います。本校の教育活動へのご理解とご協力を、保護者、地域の皆様どうぞよろしくお願いいたします。



拍手が沸き起こる担任紹介

4月8日（火）、2、3年生の生徒たちが元気に登校してくれました。新しい環境の始まりです。この日は**着任式と始業式**が行われました。生徒たちは緊張感とワクワク感の漂う中で、新しい先生との出会いと担任発表がありました。体育館では集中して話を聞くメリハリある素晴らしい姿が見られました。新3年生は最上級生として、2年生は初めての後輩を迎える先輩としての自覚をもって、この日を迎えることができたのではない

かと思います。新しい学年、新しい担任、新しい出会いとともに、「新しい自分」に出会えるように、新しい目標を掲げて挑戦してほしいと思います。

また、4月9日（水）には、**入学式**が行われました。

真新しい制服に身を包んだピカピカの1年生が仲間に加わりました。今年度の1年生は3クラスです。子どもたちは緊張した面持ちで式に参加していましたが、担任紹介の時には、自分のクラスの先生にお辞儀を返し、とても素直で前向きな様子が見られました。



これから小学校とは違う生活になりますが、仲間とともに勉強をしたり、行事に向かって協力し合ったりしていくことは、小学校と変わりありません。ただし、中学校は義務教育ラスト3年間となります。自立をしていく中で、自己管理や集



大急ぎで準備をする3年生

団生活に適應する力を身に付けさせる必要があります。そのためには、これまでよりも厳しい課題を越えなくてはならない場面も出てくると思われます。ご家庭では、お子さんの話を聞き、寄り添い、励ましてやってください。この間まで、小学校を率いていた子どもたちですので、これまでに培った力を土台として挑戦を続け、さらに成長してくれることを願っています。

教職員一同 よろしくお願ひします！！



校長 羽山 哉美 教頭 山本 勇樹

1年 主任 坂本高士(数)
1組 鈴木鳳仁(社)新 2組 田中千佳(体) 3組 濱口英太(国)
副担任 奥田工(理) 村田唯人(英)新 9組 平田弥生(英)

2年 主任 鈴木久隆(国)新
1組 村上泰大(体) 2組 武藤駿介(社) 3組 伊藤来実(英)新 4組 田中宏明(社)
副担任 藤松泰子(家) 富井元幸(数)新 8組 鈴木教史(理)

3年 主任 梅崎輝久(数)
1組 中村希美佳(国) 2組 田畑登紀子(音) 3組 若山そら(体) 4組 近藤智紀(理)
副担任 米田佳央(社) 池田道彦(英) 7組 山原彩(英)
非常勤 船江春花(美) 前嶋香保里(英)新 中野仁之(社)新
養護 岸本麻里 事務 主任 宮本祥平 辻直美 労務員 中林彰子
拠点校指導員 西村茂也 ALT アンジェリカ
外国語支援員 中国語 蔡朱蕾 ポルトガル語 安慶名メイレ スペイン語 佐藤ロサ
介助員 樋口洋子 松尾真弓 中山美代
配膳員 藤森佳子 新開詩 スクールカウンセラー 平谷智永
図書巡回指導員 稲垣なをみ スクールサポートスタッフ 田中厚子
不登校対策教育支援員・教育相談員 伊藤 央子
部活動指導員 ソフトテニス 川合勝昭 男子バレー 亀井颯斗

★その他、たくさんのボランティアさんに部活動の技術指導をお世話になっています。

◆R7年度の1年生からは移行期間 新しい部活動の形態で…

学校部活動は、好きなことに打ち込むことで、授業では味わえない充実感や達成感を味わったり、個性を伸ばし生涯にわたる趣味を見出したりできる有意義なものですし、社会性や規範意識を身につけるとい教育効果も期待できるため、学校教育活動の中では大切にされてきました。

ただし、昨年度からお伝えしているように、今年度の新1年生からは来年度からの地域移行を見据え入部方法が変更になりますのでご了承ください。生徒数減少に伴う職員数の減少もあり、今年度は希望状況を見て4人以下では開設しません。なお、現在加入している2,3年生につきましては、従来通りの活動をしていきます。学校に入りたい部活動がない場合は、外部のクラブチームや地域サークル等を活用するなど、地域での活動を今後お勧めします。(詳しくは別紙配布)



いずれにしても入部するからには、チームの一員である厳しい世界であることを自覚し、顧問の方針に従いルールを守らなくてはなりません。また道具やユニフォームなどの購入が必要になる場合もあります。よくご家庭でも相談したうえで入部を決めましょう。